

## 第 10 回教育研究審議会

### 議事概要

開催日:平成 30 年 8 月 22 日 (水)

場 所:本部棟 3 階大会議室

出席者:福田誠治学長、阿毛久芳副学長、新保祐司副学長、谷内治彦事務局長、西尾理学長補佐、平野耕一学長補佐、樋口雄人学長補佐、中地幸英文学科長、加藤めぐみ学長補佐、山本芳美比較文化学科長、寺川宏之学校教育学科長、高田研地域社会学科長、竹島達也大学院研究科委員長、野中潤図書館長(兼)情報センター長田中昌弥教職支援センター長、竹下勝雄地域交流研究センター長、大辻千恵子国際交流センター長、豊嶋朗子語学教育センター長、市原学入学センター長  
小宮文彦経営企画課長、澄川宏学生課長

欠席者:酒井利光理事、加藤敦子国文学科長、矢嶋亘総務課長

### ■挨拶

福田誠治学長よりあいさつ

---

### 議 事

(1) 専任教員の採用について (国際教育学科) (投票)

◇教育哲学・教育思想史 (講師)

投票の結果、信任多数により承認。

・留学の経験がないが、英語力を評価した点はどこか。

→候補者に模擬授業を行ってもらい、国際教育学科の教員が評価している。

(2) 特任教員の採用について (教職支援センター) (投票)

◇実習指導 (特任教員 B タイプ)

投票の結果、信任多数により承認。

(3) 平成 30 年度非常勤講師担当科目 (取消) (第 17 回) について

○担当から資料 3 に基づき説明。提案通り承認。

・担当教員が急病のため取消。「演習 (憲法) I、演習 (憲法) II、卒業論文」

(4) 平成 30 年度非常勤講師担当科目 (追加) (第 17 回) について

○担当から資料 4 に基づき説明。提案通り承認。

・担当教員の急病に伴う追加。「演習 (憲法) I、演習 (憲法) II、卒業論文」

(5) 専任教員の持ちゴマと授業の担当について (継続審議)

○担当から資料 5 に基づき説明。継続審議。

・フィールドワークについては、地域社会学科と比較文化学科のそれぞれで同名の科目があるが、同名なのに持ちゴマの扱いが異なると混乱を招く恐れがある。

・大学院については、会議の出席者に一律で手当てを出すなど、不公平のないように調整していく。

- ・文学部3学科の教員でオムニバス形式の科目を開設することを考えているが、手当てが出せるのか。  
→出すのは難しい。専任教員であれば、複数の教員で分担して行うのが望ましい。

(6) 平成30年度入試一般中期試験問題について

- 担当から資料6に基づき説明。英文学科長から提案のあったCタイプの特任教員が入試業務に携わることについては、認められなかった。
- ・中身を読めばわかるものが見過ごされた。前倒しで試験問題の作成に取り組むべき。
- ・学校教育学科のミスについて詳細を知らない教員が多い。  
→入学センター長から入試総括という形で報告する。

(7) 学校教育学科設置準備室規程等を廃止する規程(案)について

- 担当から資料7に基づき説明。提案通り承認。

(8) 副免許の取得方法について

- 担当から資料8に基づき説明。一部修正し承認。
- ・提案1のとおり、学生便覧から『副免「各高等学校教諭一種許状」は5年以上在籍した場合に取得可能です。』という文言を削除する。ただし、4年次生までに取得可能とすることについては、5年次生も取得する可能性があるので削除する。
- ・提案2のとおり、平成30年度入学生から適用とする。
- ・周知に関しては、掲示等でお知らせする。また、2年生になったときのオリエンテーションでも学生に周知する。

(9) 専門業務型裁量労働制の適用労働者が遅刻・早退・欠勤した場合の取扱い及び年次有給休暇の取得並びに出張についての一部を改正する訓令について

- 担当から資料9に基づき説明。提案通り承認。
- ・自己の研究と勤務との区分についての質問があったので、Q&Aに追加した。

### 3 報 告

(1) 平成30年度都留文科大学夏季オープンキャンパスアンケート集計結果

- 担当より資料10に基づき報告。

(2) 平成30年度入試相談会アンケート集計結果

- 担当より資料11に基づき報告。
- ・秋季オープンキャンパスの情報を早くホームページに掲載したほうがいい。  
→会議終了後、秋季オープンキャンパスの情報をホームページで公開。

### 4 その他

- 次回は平成30年9月26日に開催する。

### 5 閉 会

以上